

◇ 第66回三大学対校陸上競技大会（旧三商大戦） ◇

2016年7月16日（土） 堺市金岡公園陸上競技場

【総合成績】

	1位 神戸大	2位 一橋大	3位 大阪市大
総合得点	71点	71点	51点
トラック	30点	46点	23点
フィールド	41点	25点	28点

2位数の差により、優勝校を決定

【対校の部】



種目	1位	2位	3位	4位	5位	6位
100m (-1.5)	松島 直 (4) 一 10"58 大会新	高津 良平 (4) 大 10"71	小口 智毅 (2) 一 10"75	近藤 佑哉 (2) 神 10"96 大ベ	水野 翔太 (2) 神 10"97 自	
400m	松下 怜矢 (2) 大 50"36	堀江 真広 (2) 一 50"39	上村 勇斗 (3) 一 50"79	清水 和輝 (3) 神 50"83	八木 健人 (2) 神 51"81	
1500m	風戸 啓希 (4) 一 3'55"21 大会新	藤田 竣也 (3) 神 3'59"53	矢森 志穂 (1) 大 4'02"19	栗田 寛樹 (1) 一 4'03"04	松並 有輝 (3) 大 4'19"23	井上 敬太 (2) 神 4'20"13
5000m	丸岡 克成 (4) 神 14'52"34 大会新	柿沼 拓也 (3) 一 15'28"16	三好 優汰 (4) 一 15'33"51	佐久間 啓 (1) 神 15'47"46	石井 正樹 (3) 大 16'19"83	横山 博己 (3) 大 16'29"84
110mH (+1.7)	今井 凜太郎 (3) 大 14"77	横井 亮磨 (4) 大 14"81	藤原 雅志 (3) 神 14"93 自	宮崎 晃一 (3) 神 16"33	内田 祐一郎 (4) 一 16"62	安藤 大樹 (3) 一 16"91
4X200mR	1位一橋大 1'27"37 [山健佳太郎(3)松島 直(3) 安藤大樹(3)小口智毅(2)]	2位神戸大 1'27"84 [近藤佑哉(2)森山和友(3) 水野翔太(2)藤原雅志(2)]	3位大市大 1'28"04 [今井凜太郎(3)高津良平(4) 松下怜矢(2)中村巴威(2)]			
走高跳	香川 裕統 (3) 大 1m90	小西 満 (1) 神 1m85	吉岡 一輝 (1) 大 1m80	阿保 朗楽 (1) 一 1m75	大塚健太郎 (3) 神 1m65	池野 和 (1) 一 1m65
棒高跳	宮崎 晃一 (3) 神 3m60	早川 雄己 (3) 神 3m40	池野 和 (1) 一 2m60	榊田 敏弘 (3) 一 2m20	香川 裕統 (3) 大 NM	吉岡 一輝 (1) 大 NM
走幅跳	村上隆一郎 (3) 大 7m07(+0.4)	小口 智毅 (2) 一 7m05(+0.8)	永田 遼 (4) 神 7m04(0.0)	大塚健太郎 (3) 神 6m67(+0.3)	矢野 雄大 (3) 一 6m52(-0.3)	岡本 勇輝 (3) 大 6m48(-0.1)
砲丸投	上野 環太 (3) 神 11m72	中嶋 義貴 (2) 大 10m89	宮崎 晃一 (3) 神 10m82	山崎 翔太 (3) 大 10m66	山口 航平 (2) 一 10m14	岡嶋 拓也 (4) 一 10m03
円盤投	上野 環太 (3) 神 35m72	中嶋 義貴 (2) 大 31m31	芦田 凜 (4) 大 29m82	柳田 隆光 (3) 神 27m23	山口 航平 (2) 一 25m55	井出 俊輔 (3) 一 21m67
やり投	矢部 尚史 (3) 一 62m26 大会新	上野 環太 (3) 神 48m63	宮崎 晃一 (3) 神 45m99	中嶋 義貴 (2) 大 43m46	阿保 朗楽 (1) 一 40m53	芦田 凜 (4) 大 39m06

副将宮崎晃一(3)

瀧瀬主将、植田前主将の両エースを体調不良で欠いた苦しい戦いでしたが、残りのメンバーが良くカバーし同点ながら連覇を果たすことができました。これを契機に今年後半、来年の関西インカレに繋げて行きたいと思っております。ご声援ありがとうございました。

【優勝者より】

丸岡克成(4) 5000m大会新記録で優勝

三商戦対抗の部 5000mに出場させていただきました。今年で正選手として走るの最後となるので、優勝して三連覇、あわよくば大会新というつもりでレースに臨みました。練習での仕上がりは良く、あとはコンディションが心配でしたが、天候にも恵まれ、午前中ということで例年よりも暑さを気にせず走ることができました。途中苦しい場面もありましたが、結果として大会新を更新して優勝することができ、伝統ある三商戦をこのような形で終わられて嬉しく思います。

最後になりましたが、暑い中応援してくれたチームメイト、現地まで駆けつけてくださったOB・OGの皆様、ありがとうございました。



序盤快調に飛ばす丸岡(4)

上野環太(3) 砲丸投・円盤投優勝、やり投2位
 砲丸投は市大の中嶋君に勝てたので良かったです。突き指したわりには良い記録が出たので、今シーズン中に自己新を出せるよう頑張ります。円盤投は優勝しましたが、納得のいく投げができずあまり喜べませんでした。来年は大会新を出してリベンジしたいと思ひます。応援ありがとうございました。



2種目優勝の上野環太(3)の円盤投



宮崎晃一(3) 棒高跳優勝、砲丸投・やり投3位
 記録はあんまりでしたが、役割を果たせてよかったです。ばや(早川)もベスト出したので、自分も一気にベストを出したいと思ひます。



藤原雅志(3) 110mH 14"93 歴代3位

100m 決勝

向風 1.5mの悪条件で揃って10秒台をマークした3レーン近藤佑哉(2)と6レーン水野翔太(2)、2レーンは10"58の大会新記録で優勝した一橋大の松島直君(4)



応援に駆けつけていただきましたOB・OGの皆さま ご声援ありがとうございました!! (敬称略)

丹羽 徹(11)	坂 幸夫(12)	藪 忠司(12)	椎木茂久(17)	平田明男(18)	絹田清昭(21)
大西秀典(21)	今給黎哲生(24)	中嶋 周(24)	清水 秀(25)	田代雅彦(27)	森島茂夫(27)
山本達男(30)	山本了弘(36)	高橋秀幸(37)	島名孝次(38)	奥田 誠(46)	前川文紀(51)
石谷陽奈(63)	井関萌絵(63)	茂原哲也(63)	田中 諒(63)	黒崎佑太(64)	田中 竣(64)
森 勝也(64)	吉川実樺子(64)				

【OB対校 4X100m リレー】

1位	神戸大学 (前川文紀・島名孝次・山本了弘・椎木茂久)	56"45
2位	大阪市立大学 (伊藤卓也・龍野修一・田中弘明・平山文夫)	56"49
3位	一橋大学 (水野雄一・浜田健一郎・若菜忠央・池田隆弘)	57"24
オープン	神戸大学 (田代雅彦・森島茂夫・中嶋 周・絹田清昭)	1' 02"80

[出場規約]

- ・年齢の合計200歳以上であること
- ・登録競技者であること

1走前川文紀さん(新51)がダントツの速さで先頭を切り、2走は個人戦100mで11秒台をマークした島名孝次さん(新38)、100mレース後に痙攣を起こし出場が危ぶまれ棄権の危機にありましたが、故障を押して出場して頂き、何とか3走の山本了弘さん(新36)さんにバトンタッチ。山本さんが懸命に追い上げ望みを繋ぐ。最後は椎木さんの快走でハナの差の逆転勝利。昨年の雪辱を遂げました。各大学の出場選手の皆さんはレース後、勝敗にこだわらず、お互いの健闘を称えあいました。

来年は国立グランドで開催されます。関東在住の皆さままで是非チームを組んで出場頂ければと願っています。



大市大、一橋大、神戸大の順で3走からアンカーへ リレーチームを囲んで応援に駆けつけていた皆さま

第66回三大学対校陸上競技大会 (旧三商大戦) 観戦記

新37回 高橋 秀幸

今年の旧三商大戦は、総合得点で2位一橋大と同得点、優勝種目数も同数で、2位種目数の差で順位が決まるという稀にみる接戦でした。結果的には、1種目でも順位が下がっていれば、総合順位も入れ代わっていたことになります。主将と前主将のエース2人を体調不良で欠き苦戦を強いられたようですが、それをカバーすべく部員一丸となって掴み取った価値ある2連覇であったと思います。

競技内容を振り返ってみると、100mでは1.5mの向かい風の中、出場選手全員が10秒台を出すなど、トラック種目で好記録が目立ちました。また、レベルの高い大会新記録が全部で4種目と、三大学全体のレベルアップを感じさせられる大会であったと思います。

我が神戸大の得点構成では、トラック種目での劣勢をフィールド種目で挽回する形となりましたが、種目別に振り返ってみたいと思います。

最初のトラック種目である110mHでは、藤原(3)が14秒93の好記録での自己新で3位、あと一步で14秒台の自己記録を持つ宮崎(3)が4位に入るが、実力で上回る大市大の2人に及ばず、まずは順当な滑り出し。

続いての5000mでは、丸岡(4)が最初の1000mを2'50"のハイペースで入り、その後3000m~4000mは意識的にペースを落とし、4000mから再びペースを上げ、最後は食い下がる一橋大勢を引き離しゴール。暑さの中見事なレースプランで14'52"34の大会新記録で優勝。第2集団についての佐久間(1)は4位。14分台の底力を持っているので今後に期待。

400mは48秒台の記録を持つ植田(4)が欠場、持ちタイムで上回る大市大、一橋大に苦戦を強いられ、4位清水(3)、5位八木(3)という結果に終わった。

100mは、1.5mの向かい風の中、出場選手全員が10秒台というハイレベルな争いの中、近藤(2)、水野(2)と4位、5位に終わったものの、二人ともまだ伸び盛りの2年で今後に期待。

1500mは、3分55秒台の大会新を出した一橋大の選手を3分56秒台の自己記録を持つ藤田(3)が追走するものの、徐々に離され3分59秒台の2位となった。

フィールド種目に目を転ずれば、走幅跳では1位から3位までが3cm差という接戦の中、永田(4)が7m04cmで3位に、走高跳では1年の小西(1)が1m85で2位に食い込んだ。棒高跳は、宮崎(3)、早川

(3) が順当に 1 位 2 位を占めた。投てき種目では、上野 (3) が大活躍、砲丸投、円盤投の 2 種目で実力通りに優勝、やり投でも 2 位に入り、1 人で 14 点を獲得する健闘を見せた。

最後の 4×200mR では、先頭に行く一橋大に及ばずの 2 位ながら、短距離で上位に入った選手を擁する大市大に競り勝ったことが、総合優勝をもたらす結果となった。

また、4×200mR の前に行われた OB 対校 4×100mR では、前川さん、島名さん、山本さん、椎木さんの合計年齢 209 歳のメンバーで臨み、アンカーの椎木さんの快走で前に行く大市大を逆転、見事優勝を飾った。

東京在住の小生にとって、関西地区で久方振りに見る旧三商大戦でした。

試合後のミーティングで聞いていると、対校の部だけではなく、女子を含めて OPEN 競技でも多数の自己記録が出ていたようです。現在、部員は 100 名を超えるとのことと、対校戦の選手に選ばれるのもなかなか難しいのかと推察しますが、部員間でレベルの差はあっても、大学 4 年間を通して自己の掲げた目標に向けて努力する姿は真に尊いものです。現役の皆さんに申し上げるとするなら、その努力した過去の自分が、将来の自分自身を勇気づける日がきっとやってくるということです。現役の皆さん一人一人が、自分なりに精一杯頑張っ頂きたいと思います。そして、その人なりの頑張りが、様々な形で報われる部であることが、部全体の実力を引き上げる原動力の一つであるのだと思います。

部員全員の頑張りで勝ち取った今年の旧三商大戦での勝利でしたので、秋のシーズンや来年の関西インカレなど、今後も大いに期待できると思います。

頑張れ神戸大学陸上部！